

目で見える
富山県勢

県民のつらつ



山岳観光のメッカ 立山連峰

昭和45年



老人ホームを訪れ「ご不満なところありませんか」と優しく慰める中田知事

日本海時代の開拓という大きなビジョンを実現するために、新産業都市の建設、農林水産業、商工業の発展を通じて富山県の飛躍を図るとともに、この大きなビジョンの陰で働く人々にもキメ細かく政治の手を伸ばし、繁栄と愛の県政を進めてまいります。

*** 住みよい富山県づくり**

*** 富山県に繁栄をもたらす**

*** 若い世代を育てる**

この3大政策実現のために私は私の信条とする「誠実と奉仕」「ねばりと正直」を傾注し、健康で心豊かな青少年を育成し、社会福祉を充実して、美しい自然を背景に、本当に豊かな、住みよい、明るい富山県になるよう努めます。

百万県民のみなさんの暖かいご理解ときたんのないご意見をお寄せ下さいますよう、お願いいたします。

富山県知事 中田幸吉



▲ 富山県人の深い愛情と根気は この大白鳥を大沢池(富山市栢谷)に遊ばせた

* 住みよい富山県づくり



▲ いたわり 励まし 暖かい手をさしのべよう かわいいこの子らに!! <県立養護学校>

すべてに幸福を!

恵まれない老人や心身障害者、母子家庭などに愛の光をと、県では大きな社会問題としてとりあげ、いろいろの施策を講じております。

あすに希望を抱き、しっかりと大地に足をおろし、健康でしあわせに満ちた生活を求める権利はだれしもあるのです。

▼ 1日3回70年間楽しく食事をしてきたとして 7万6千650回 それでも一番楽しいのがこの時間 <流杉老人ホーム>



▼ 早期発見 早期治療は健康保持の第一歩です ことに成人病が増えている今日 あなたもいま すぐ検診を



◀これはトリック写真ではありません

- ☆無理するな 遠くに見えても 車は速い
- ☆いつものなれたとおりでも ただしくあるいて ただしいおうだん
- ☆歩道橋 使わぬあなたは安全棄権

▼ 園児たちの横断に 運転手さんがニワカ交通指導員に



▼ 無免許で猛スピードで無理な追越しをした途端に スリップしてこの惨事



▼ 横断歩道橋は歩行者の安全のためにかけた橋です 少し遠回りになっても利用しましょう



90 93

この数字は昭和44年中の富山県内の交通事故による死傷者数です。

もう本当にゴメンです。交通地獄というこの世相は。お互いに守れば守られる交通ルールを、しっかり守ろうてはありませんか。

- ☆カッとする 心の動きが 事故のもと
- ☆確かめよ あなたの 速度と 車間距離
- ☆とばしても 着いた時刻に 大差なし
- ☆われ先に 急ぐ心に 事故が待つ
- ☆追越しを するよりされて 安全運転

元気はつらつ 根性がないというのは昔物語り



健康は人生最上の幸福

よく老人との対談記事に「健康のひけつ」を聞いていますが、「無理をせず、コツコツと毎日欠かさず運動をしているからかな」という答えが多いようです。

そうです、それですよ体力づくりは。少しでも毎日欠かさず運動を お続けになって下さい。

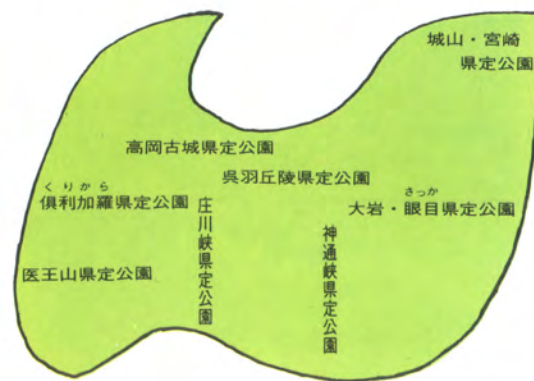
▼ ビシッと決まった体操の妙技 体力づくりはここまでは要求しません ごく自然の体操を毎日欠かさずにやりましょう



▼ カロリーを考えて 料理にも一工夫して体力をつくろう



行楽は県定公園で



▼ 国宝指定の日石寺の磨崖仏(上市町)があるこのあたりも県定公園に これで県定公園は8カ所になりました



▲ 民舞踊は郷土の生きた遺産です

自然に親しもう

観光地の整備も着々と進んでいます。家族連れでゆっくり自然に親しみましょう。



▲ 深刻になってきた過剰問題

雪を克服して 住民の生活安定を……

交通を確保し、企業の誘致、農林業の振興、教育、医療対策などを進めて、へき地住民の生活の安定を図らなければなりません。と同時にこれをはばむ雪害にも、対処する必要があります。

雪の克服は県全体の問題として、積極的に取り組むため、研究調査を行なうことになりました。

奇病、風土病とあきらめていた
イタイイタイ病は、公害によるも
のと断定されました。



おいしい水を 空気を

大気も水も汚れ放題、ここにも経済成長の谷間があるようです。公害対策は人間尊重の第一歩といえましょう。そのために水質調査、大気汚染の監視体制などが強化されます。

災害は忘れた頃にやってくる……

忘れた頃にやってくるといわれる災害、日頃の防災対策こそ大切であります。災害の復旧は着実に進められていますが、一方新たな災害が、いつどこで起るかわかりません。河川や山林の保全に協力いたしましょう。



▲ 昨年7月の長雨で沈下した富山大橋
国道8号線の渋滞に拍車をかけました

▼ 昭和44年8月 県東部を襲った未曾有の
豪雨災害と 今年1月の高波被害地を視察
する中田知事



県土の保全＝治山・治水

川千本といわれる富山県は、古い昔から沃野を荒され、泣かされてきました。

明治初年から、全国にさがけて外人技術者を招へいして、新しい技術を取り入れるなど、治山・治水に積極的な対策をたててきたのですが、今年の8月豪雨で未だしの感を深めました。

森林資源の造成や水資源の涵養の見地からも、治山砂防事業は、県土保全の重要な仕事です。

急流河川と地すべり地帯を多くもつ本県は 治山治水には積極的
(早月川上流 馬場島付近 後方の山は剣岳) ▼



▼ 富山湾の夏は いたるところで海水浴ができます



流れてくる土石をガッチリ受け止め美しい水を▶
下流へー早月川、中村砂防えん堤



▲ 浸食の著しい海岸に テトラポットはきょうも
増えてゆく

荒波とたたかう

富山湾の荒波による海岸の浸食は著しく、毎年国土が削られていきます。

国の海岸事業5カ年計画に併せて、県でも大きく海岸対策を推進します。



人類の進歩と調和

日本万国博覧会

▼ 東側入口から見た万国博会場全景



大阪府吹田市千里ヶ丘 3月15日⇒9月13日

世界の知恵で未来を築く、万国博覧会はアジアで初めての催しです。万国博の歴史は古く、1851年イギリスで開催されたのが初めて、120年の間に国際的行事に成長してきました。万国博は次の3つの顔(機能)をもっているといわれています。

- ①地上最大の産業と技術の展示の場として産業、経済面の発達に貢献する機能
- ②総合的な文化、芸術活動としての機能
- ③人類共通の歓喜と平和の祭典として、全世界の親善と平和のための運動としての機能

日本が初めて万国博に参加したのが、1867年のパリ博です。そして明治から3代にわたっての念願がここになかったのです。高度経済成長や産業技術の驚異的進歩を続ける日本は世界の注目するところであります。しかし一般的には地理的条件、伝統、文化の異質なことから日本の正しい姿を世界の人々は必ずしも知っているとはいえません。そうした意味からも世界77カ国が参加し広く外国人が来日するこの機会に日本のすべてを紹介し、理解と認識をもってもらうことは意義深いことであります。

万国博は若い世代の青少年にとって、またとない教育の機会となることでしよう。直接見る見ないにかかわらず、万国博覧会を理解するように、あらゆる媒体を利用して視聴し、過去を知り、現代に目を開き、未来に夢を持ちましょう。



▲ 地方自治体館に展示される富山県の銅器と彫刻



ミス万博に選ばれた 向って左から
雪山まゆみさん
宇奈月町(万博協会ホステス)
堀江 洋子さん
富山市(万博協会ホステス)
高松寿美子さん
清川市(地方自治体館ホステス)

万国博で紹介される富山県の姿

桜の花をかたちどった日本政府館の正面を、墨痕鮮やかにかざる「日本館」の表額に目をみはる人が多いといわれています。これは本県の小杉小学校の水上義二君の書いた文字が選ばれたものですが、この誇りある「書」を始めとして、日本万国博覧会と富山県を結ぶ数々の催し物や展示会は次のとおりです。

* 地方自治体館(富山県は幹事県)

第1部「地方自治のあゆみ」

本県の産業文化を25枚のスライドで紹介。

第2部「明けゆく日本列島」

雲海の立山や伸びゆく県土の姿、祭りなどスクリーンを通して紹介。

第3部「ふるさとの広場」

7月12日～14日までが富山県の日。この日は越中おわら節、麦屋節、せり込み蝶六の出演及び物産の紹介。

* 日本のまつり

お祭り広場で華やかに繰りひろげられる催し物のなかの「日本のまつり」には、越中おわら節と麦屋節が参加。なお6月29日の日本デーには富山商業高等学校プラスバンドが選ばれて参加します。



▲ 表額と、これを書いた水上君

富山県に繁栄をもたらす



▲ 頼成もみどりの岡になれかしと 杉うえにけり ひとびととともに
第20回全国植樹祭は昭和44年5月24日から6日間 天皇、皇后両陛下を本県へお迎えして盛大に挙行されました
(お手植えの杉と記念碑—砺波市頼成)

近代化急ぐ農林漁業

本県の農業の主体は、商品性の高い良質の米を生産することにあります。そしてこれをとりにくく畜産、そ菜園芸などを上手にとり入れて生産性を高め、経営の近代化合理化を図ります。一方、林業の振興、水産業の近代化などに併せて、後継者の養成が急がれます。

▼ 新鮮なそ菜も豊富に作られるようになりました



▼ 広々とした牧野にノンビリと遊ぶ牛 畜産はどんどん伸びています



▲ 沿岸漁業 遠洋漁業 栽培漁業へと水産業の意欲さかん



▲ 44年11月の北陸自動車道起工式



▲ 北陸線に快速電車が走っています



▲ 一日も早く開通をと 雪の中もいとわず工事は進む

交通網の整備促進

待望久しかった北陸自動車道は富山市以西でいよいよ着工しました。もうすぐ隣県と結ばれるこの道路を始め、東海北陸自動車道や北回り新幹線など、北陸経済圏建設の基盤となる基幹交通網は、富山県を中心に着々と計画が促進されています。そして既設の交通網も急ピッチで整備されています。



▲ 中部を結ぶ国道41号線と高山線も整備されました



▲ 高山線のCTCは美濃太田駅にあります

CTCとは

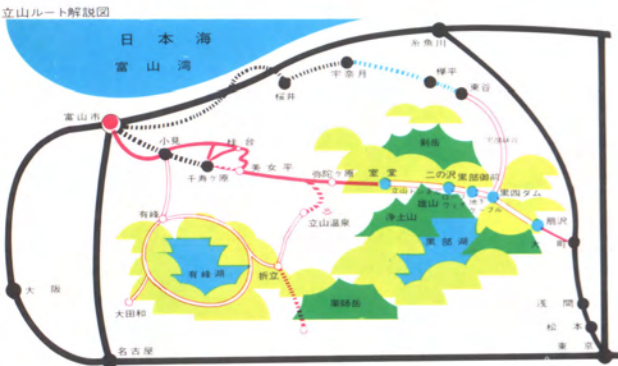
Centralized Traffic Controlつまり「列車集中制御方式」の略称。従来転てつ機、信号機の扱い等各駅で行なっていたものを一カ所に集中、監視しながら遠隔操作する装置で、多数の列車を能率的に操作でき、しかも安全に運転できます。





▲ この立山の真下をトンネルで貫通しました

《立山ルート》 全線開通あと一步



標高 2,500メートルの高所を自動車やケーブルカーで昇り降りしようというのだから、その景観は考えただけでもすばらしい。

富山県が世界に誇るこの計画は、全線開通にいま一步のところまでできました。

立山ルートとは、富山県内各地から、千寿ヶ原、美女平、弥陀ヶ原、室堂へ、そして立山で遊んだら専用バスで立山トンネルを抜け、後立山の二の沢へ、黒部峡谷を眼下にロープウェイで黒部御前へ、地下ケーブルカーで黒部湖、黒四ダムへの全コースを指しています。



▲ 地下ケーブルカー開通で一段とにぎわう黒四ダム



44年11月 遂に世紀の難工事成る

富山県経済のかなめに

富山新港の整備も着々と進み10万トン級タンカーの出入りができる日も近づきました。

その周辺にはアルミニウムと木材を中心に一大工業地帯が形成されつつあり、既存工業と関連して本県は文字通り北陸の工業県として一段と飛躍を続けているのです。



▲ 企業がどんどん進出してくる富山新港周辺
(手前の長い工場は住友化学)



▶ 巨大なタンクが並ぶ日本海石油基地
(隣りが火力発電所と富山港)

商工業の発展をめざして

▼ 躍進を続ける富山市

国際競争の激化、都市化の進展、労働力不足の問題、そして情報化時代への幕明けと商工業をとりまく経済環境はめまぐるしいものがあります。

日本海時代といわれるいま対岸貿易はその鍵でありましょう。これからは大小の既存企業をますます振興するとともに、新しい企業を誘致して本県の産業発展に拍車がかかるでしょう。そのためには、優秀な技術者、若いエネルギーが豊富であるよう努めなければなりません。



活気溢れる高岡市▶

▼ 勤勉で堅実なこのひとたち



◀ 富山工業地帯を背後に活気が溢れる富山港



▲ 緑と太陽の街 太閤山ニュータウンは 計画どおり建設されていきます
ニュータウンへお住みになりたい方は 県庁住宅建築課へお問い合わせ下さい



▶ 古い歴史をもつ伏木港は 高岡工業地帯の玄関である



▲ 各地に工業団地が進出(魚津市)



◀ 球根販売・輸出量日本一を誇るチューリップ栽培(砺波市)

* 若い世代を育てる

期待するために...

若い世代を育てる。簡単な問題ではありません。教育の充実、勤労青少年と社会、体力の増強、スポーツや文化活動の活発化など、健康で明るい健全な精神をもち、気力に満ち満ちた青少年を育てるためには、県も社会も学校も家庭も、うって一丸となって努力しなければなりません。

▼ 音楽研修のひととき(二上青少年の家)



▲ 青少年のメッカ 二上青少年の家は有峰青少年の家とともにのびのびとした健康で明るい若人をつくりだすことでしょう

▼ ワーイきれいだなア!! 社会見学する小学生



▲ 伝統芸術と取組む若人



① 県民教育の大きな一翼をになう私学は 教育界に重要な位置を占めています

② 蔵書19万冊を誇る県立図書館は 風光明媚な呉羽山西麓にあります

③ 商業教育センターでは 時代の花形コンピューターも取り入れています

④ 自由に意見を交換しあって進むべき方向を

⑤ 今年成人になった各地の代表者の「知事を囲んでのつどい」では活発な意見交換がありました

⑥ 高等技能学校で習得した技術を この一堂に集めて(高等技能学校展示会)





家族みんなで
話しあい
力をだしあい
助けあう
家庭には
力強いしあわせが
生まれてきます



目で見える富山県勢「県民グラフ」

昭和45年4月1日 発行／編集 富山県総務部総務課・印刷／富山スガキ株式会社